

## 【京一・成育医療・産婦人科コース】

診療科名：産婦人科

研修期間：3年

### 1. 研修コースについて

#### (1) 目的

総合周産期母子医療センター研修を通じ、また、専門的に産婦人科臨床経験を積み、社会に貢献できる医師を養成する。

#### (2) 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

##### ア. 一般目標

- 1) 産婦人科全般にわたる幅広い臨床能力をつけた医師になるために、産婦人科疾患の病態生理を理解し、診断技術・治療手技など多様な臨床技能を修得する。また、臨床研究にも従事し、日本産科婦人科学会専門医の取得を目標とする。同時に母体保護法指定医の取得も可能となる。

##### イ. 行動目標

- 1) 産婦人科の基本診療：良好な医師 - 患者関係を築き、適切な医療面接と身体診察法を行うことにより、患者の病態生理を把握し、鑑別診断に必要な検査の立案、治療計画の方針およびベッドサイド手技、救急処置を行うことの出来る能力を身につける。
- 2) 診断確定のために内診、視診など基本的な産婦人科診察法を身につけ、その結果を解釈する。また、CT、MRI、PETなどの画像診断を選択でき、その結果を解釈する。
- 3) 確定診断のために経膈、経腹超音波検査、カラー超音波検査を実施でき、その結果を解釈する。
- 4) 確定診断のために核医学検査を実施し、その結果を解釈する。
- 5) 正常・異常分娩に対する適切な検査、介助、処置を指導医と共に、あるいは自ら実施し結果を解釈する。
- 6) 婦人科良性腫瘍、性器脱等に対する手術療法を指導医と共に、あるいは自ら実施する。
- 7) 婦人科悪性腫瘍に対する手術、がん化学療法の治療計画を立案し、指導医と共に実施する。
- 8) 産婦人科感染症に対する知識を習得し、薬剤の投与などを適切に実施する。
- 9) 生殖・内分泌に関する知識を熟知し、ホルモン療法やその臨床応用を実施する。

10) 周産期及び婦人科救急疾患に対して速やかに検査、処置等を実施する。

11) 極小未熟児・重症新生児の管理をNICUにて実施する。

(3) 赤十字としての特色

ア. 救急医療

1) 併設の救命救急センターでの研修と日本赤十字社の主催する。

2) BLS、ACLS講習会への参加。

イ. 災害医療

1) 日本赤十字社京都府支部主催の災害救護訓練に参加。

2) 常備救護班として登録し、出動の要請を受けた時には指導医と共に優先的に出動する。

ウ. 国際救援

1) 必要最小限の語学を身につけ出動に備える。

(4) 協力医療施設名

・日本赤十字社京都府支部

・京都市消防局

2. 取得資格(各学会による認定等)

・日本産科婦人科学会専門医